



県内で初確認のヒレコダイ(白浜町臨海で)

# 県内初確認の ヒレコダイ

みなべ沖で捕獲

みなべ町沖で、県内初確認となる南方系のヒレコダイ(タイ科、全長17センチ)が釣り上げられた。京都大学総合博物館(京都市)の中坊徹次教授が確認した。

釣ったのは田辺市上屋敷の遊漁船業、塩路守さん。11月18日、みなべ町鹿島沖合約3キロ、水深約40メートル付近でアジを釣っていたサビキに食いついてきたという。タイワンダイに似ているが何か違うと持ち帰った。

紀州日高漁協南部町支所から連絡を受けた白浜町の京都大学瀬戸臨海実験所が引き取り調べた。

ヒレコダイは高知、鹿児島、宮崎、東シナ海、南シナ海などに生息する。チダイに似ているが背びれの3本目と4本目が長く伸びており、色彩が薄桃色の地に太い青色の縦帯が5、6本ある。全体的に丸い。